

【NEWS RELEASE】

2021年10月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社イノウエに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社イノウエ（代表取締役社長：井上 浩樹）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社イノウエについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 金属材料の提供を通じた再生可能エネルギーや次世代エネルギー発電装置の開発・普及への貢献

目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

- ② ステンレス提供とリサイクルによる廃棄物削減と職場環境整備等によるサプライチェーンの持続可能性向上

目標12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障がい者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



金属材料と加工サービスを通じて次世代エネルギー発電の開発・普及、各産業基盤の改良・改善をサポートし、持続可能な事業に貢献しています。



ステンレス・高機能材料の特性を生かした長寿命化、リサイクルによる廃棄物の削減を実施しており、持続可能な社会の実現に貢献しています。



男女・年齢を問わず社員一人ひとりが自分らしく輝けるように働き甲斐のある職場環境を提供し個々の成長をサポートしています。

<ご参考>

※ SDG sとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。